

平成31年度全国学力・学習状況調査概要

角田市教育委員会

令和元年9月19日

1 実施日

平成31年4月18日（木）

2 対象児童・生徒

小学6年 児童 受験者数 266名

中学3年 生徒 受験者数 253名

3 調査内容

（1）学力調査

①小学生 国語 算数

②中学生 国語 数学 英語

（2）児童、生徒質問紙

（3）学校質問紙

1 調査結果一覧

※ 別紙1「全国学力・学習状況調査年度別推移（平成28～31年度）」参照

2 教科に関する調査の結果

○小学校の平均正答率については、国語においては、宮城県平均を1ポイント上回った。全国平均に近づいた。算数において、県・全国平均にやや及ばなかった。

（参考）正答率 ※正答率は全国のみ小数第1位まで公表

	角田市	宮城県	全 国
国語	63	62	63.8
算数	62	65	66.6

※仙台市を除く宮城県平均 国語61 算数64

○県・全国平均を同等または上回った設問

- ☆国語・・・文の中で漢字を使う（かぎらず）(+0.1P)
- ☆国語・・・調べたことを報告する文章で、書き方の工夫として適切なものを選択する(+5P)
- ☆算数・・・350-97について、引く数を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く（ほぼ同等）
- ☆算数・・・被除数と除数にかけの数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する(+1P)

○全国平均を下回った設問

- ★国語・・・文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く(-11P)
- ★国語・・・文の中で漢字を使う（かんしんをもって）＜関心という漢字＞(-13.8P)
- ★算数・・・二つの合同な台形をずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ(-8.4P)
- ★算数・・・加法と乗法の混合した整数と少数の計算をする、 $6+0.5 \times 2$ の問題(-8.6P)

○中学校の平均正答率については、国語、数学、英語ともに県・全国平均に及ばなかった。

小6の時点との比較においても、差が広がった。

（参考）正答率 ※正答率は全国のみ小数第1位まで公表

	角田市	宮城県	全 国
国語	64	74	72.8
数学	47	58	59.8
英語	47	53	56.0

※仙台市を除く宮城県平均 国語71 数学55 英語64

○県・全国平均と同等または上回った設問

- ☆国語・・・短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く（ほぼ同等）
- ☆数学・・・aとbが正の整数のとき、四則の計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ（ほぼ同等）

☆英語・・・教室英語を聞いて、その指示内容を最も適切に表している絵を選ぶ（ほぼ同等）

○県・全国平均を下回った設問

- ★国語・・・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ（-14. 2P）
- ★国語・・・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く（-13. 4P）
- ★数学・・・連立二元一次方程式 $\{y=-2x+1 \text{ と } y=x-5\}$ を解く（-20. 3P）
- ★数学・・・証明で用いられている三角形の合同条件を書く（-23. 1P）
- ★英語・・・文中の空所に入れる接続詞として最も適切なものを選択する（-22. 1P）
- ★英語・・・与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く（-19. 1P）

3 児童生徒質問紙調査の結果

※ 別紙2「平成31年度 児童生徒質問紙調査結果のポイント」参照

○基本的な生活についての質問

全国と比較して、毎日同じくらいの時刻に起きる小学生の割合が低い。また、朝食を毎日食べる、毎日同じくらいの時刻に寝る割合も低い傾向にある。特に、朝食をまったく食べないと回答している小学生が1.9%と、全国平均の2倍近くとなった。

今回の調査で、朝食を毎日食べていると回答した児童と、全く食べていないと回答した児童の間で、各教科の正答率に明確な差が認められた。生活習慣の改善も学力向上に必要な要素と考えられる。

○家庭での学習習慣

家で予習・復習を行っている割合は全国を上回っている。小学生の平日の家庭学習時間は全国とほぼ同じ水準だが、中学生は大きく下回った。また、中学生の放課後部活動に参加している割合が全国を9.4P上回り、新聞を読んでいる率は小・中とも全国をやや下回った。

読書に関する設問では、小学生が30分以上の読書を行っている割合は全国より低い傾向が確認された。中学生では、全国平均をやや上回り望ましい傾向がみられた。

家で学校の復習を行っている児童・生徒ほど正解率が高く、明確な相関関係が見られた。引き続き、家庭での学習時間の確保が課題であり、学校と家庭が連携して取り組んでいく必要がある。

○学習に関する取組

算数の文章で解答する問題に対して、書くのをあきらめた割合は昨年度より少なくなった国語、算数（数学）とも授業内容がよくわかるという設問は、小中共に全国を上回った。中学生では英語の授業がよくわかる設問は、全国をやや下回った。また、小・中とも、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広めたりできていると回答する割合が低く、アクティブラーニングを推進する上で改善を図りたい。

○その他

「自分にはよいところがある」と考えている割合が低く、小中学生ともに全国を10P以上下回った。この項目は昨年も低い傾向にあり、学校間の差が大きい。児童・生徒のよさを見つけ、認める声掛け等を意識した取組が求められる。

<別紙1>

全国学力・学習状況調査年度別推移(平成26～31年度)

角田市立小学校(6年生)																								
教科	国語A					国語B					国語	算数A					算数B					算数	理科	
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H30
全国平均正答率	72.9	70.0	72.9	74.8	70.7	55.5	65.4	57.8	57.5	54.7	63.8	78.1	75.2	77.6	78.6	63.5	58.2	45.0	47.2	45.9	51.5	66.6	60.8	60.3
宮城県平均正答率	74.2	69.6	72.0	74	69	54.3	63.9	56.2	56	53.0	62	77.3	74.1	76.5	77	62	56.8	42.7	45.6	44	49	65	59.6	59
宮城県平均正答率 (仙台市を除く)				73	67				54	52	61				76	60				42	47	64		57
角田市平均正答率	69.1	67.1	68.8	71	66	48.0	59.2	52.2	50	48	63	72.7	72.1	73.8	75	56	48.9	41.0	42.1	39	43	62	55.8	57
全国平均との比較	▼3.8	▼2.9	▼4.1	▼3.8	▼4.7	▼7.5	▼6.2	▼5.6	▼7.5	▼6.7	▼0.8	▼5.4	▼3.1	▼3.8	▼3.6	▼7.5	▼9.3	▼4.0	▼5.1	▼6.9	▼8.5	▼4.6	▼5.0	▼3.3
県平均との比較	▼5.1	▼2.5	▼3.2	▼3.0	▼3.0	▼6.3	▼4.7	▼4.0	▼6.0	▼5.0	1.0	▼4.6	▼2.0	▼2.7	▼2.0	▼6.0	▼7.9	▼1.7	▼3.5	▼5.0	▼6.0	▼3.0	▼3.8	▼2.0

角田市立中学校(3年生)																									
教科	国語A					国語B					国語	数学A					数学B					数学	理科		英語
年度	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H30	H31
全国平均正答率	79.4	75.8	75.6	77.4	76.1	51.0	65.8	66.5	72.2	61.2	72.8	67.4	64.4	62.2	64.0	66.1	59.8	41.6	44.1	48.1	46.9	59.8	53.0	66.1	56.0
宮城県平均正答率	80.3	76.1	76.9	77	77	52.0	66.2	67.9	73	62	74	65.6	63.1	60.4	63	65	59.4	40.7	43.8	47	47	58	53.7	67	53
宮城県平均正答率 (仙台市を除く)				74	75				70	59	71				59	61				44	43	55		64	50
角田市平均正答率	75.8	70.5	72.9	74	72	45.0	61.0	61.6	69.0	57.0	64	60.8	55.4	53.3	59.0	61	54.7	33.6	36.4	44.0	43.0	47	48.8	64.0	47
全国平均との比較	▼3.6	▼5.3	▼2.7	▼3.4	▼4.1	▼6.0	▼4.8	▼4.9	▼3.2	▼4.2	▼8.8	▼6.6	▼9.0	▼8.9	▼5.0	▼5.1	▼5.1	▼8.0	▼7.7	▼4.1	▼3.9	▼12.8	▼4.2	▼2.1	▼9.0
県平均との比較	▼4.5	▼5.6	▼4.0	▼3.0	▼5.0	▼7.0	▼5.2	▼6.3	▼4.0	▼5.0	▼10.0	▼4.8	▼7.7	▼7.1	▼4.0	▼4.0	▼4.7	▼7.1	▼7.4	▼3.0	▼4.0	▼11.0	▼4.9	▼3.0	▼6.0

※ 正答率は平成29年度より全国のみ小数第1位まで公表

※ ▼は、平均を下回っている(単位はポイント)

※ 平成31年度は、従来のA問題(知識)とB問題(活用)が1つにまとまった一調査問題で実施のため、A・Bの区分はない。

〈別紙2〉

平成31年度 児童・生徒質問紙調査結果のポイント

角田市教育委員会

1 基本的な生活習慣について

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	朝食を毎日食べる	95.1 (▼0.2)	96.5	95.3	93.6 (0.5)	94.9	93.1
2	毎日、同じくらいの時刻に起きる	89.9 (▼1.7)	91.9	91.6	91.6 (▼1.2)	93.9	92.8
3	毎日、同じくらいの時刻に寝る	77.0 (▼4.4)	84.1	81.4	71.3 (▼6.7)	81.7	78.0

☆3で朝食を毎日全く食べない小学生 角田市 1.9% 全国は 1.0%

2 家庭での学習

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	家で自分で計画を立てて勉強する	78.5 (7.0)	75.6	71.5	56.9 (6.5)	55.7	50.4
2	平日、家庭で1時間(中3は2時間)以上勉強する	77.5 (11.4)	67.9	66.1	21.5 (▼14.0)	30.6	35.5
3	普段30分以上読書をしている	31.6 (▼8.2)	39.5	39.8	31.9 (4.9)	28.7	27.0

3 学習に関する関心・意欲・態度

	質問項目	小学校6年生(%)			中学校3年生(%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	国語の授業内容がよく分かる	86.1 (1.2)	85.2	84.9	82.1 (4.5)	80.4	77.6
2	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示すよう工夫している	63.2 (▼5.3)	69.9	68.5	60.1 (▼4.3)	69.9	64.4
3	算数・数学の授業内容がよく分かる	83.8 (0.3)	83.5	83.5	79.3 (5.4)	72.6	73.9
4	算数の問題の解き方が分からないとき、諦めずにいろいろな方法を考える	79.7 (▼2.3)	82.0	82.0	中の設問なし	—	—
5	英語の授業はよく分かる	小の設問なし	—	—	62.9 (▼3.1)	64.5	66.0

6	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか	78.2 (0.5)	79.0	77.7	71.3 (▼3.5)	77.0	74.8
7	話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広めたりできている	68.4 (▼5.7)	74.4	74.1	65.3 (▼7.5)	76.0	72.8

4 自尊感情・自己肯定感

	質問項目	小学校 6 年生 (%)			中学校 3 年生 (%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	自分には、よいところがあると思う	68.0 (▼13.2)	80.1	81.2	61.3 (▼12.8)	74.9	74.1
2	将来の夢や目標を持っている	84.9 (1.1)	84.4	83.8	74.1 (3.6)	71.1	70.5
3	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.1 (▼0.1)	94.6	95.2	92.4 (▼1.9)	93.8	94.3
4	人が困っている時は、進んで助ける	88.0 (0.1)	87.3	87.9	77.7 (▼8.2)	85.8	85.9
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.0 (▼0.1)	97.3	97.1	94.1 (▼1.0)	95.1	95.1

5 社会への関心

	質問項目	小学校 6 年生 (%)			中学校 3 年生 (%)		
		角田市	県	全国	角田市	県	全国
1	今住んでいる地域の行事に参加している	75.2 (7.1)	75.9	68.1	56.6 (6.0)	54.0	50.6
2	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	47.4 (▼7.1)	57.4	54.5	39.0 (▼0.4)	43.1	39.4
3	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい	71.4 (▼4.7)	76.9	76.1	52.6 (3.3)	61.0	49.3

[表の見方]

*数字は当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した割合。

*かっこ内は、全国平均との比較 (単位はポイント) ▼はマイナス

角田市教育委員会の取組

○大学等と連携し、校内研修の講師を派遣するなどの支援を行います。

本市及び本教育委員会は、平成24年2月に、宮城教育大学と連携協力に関する覚書を締結しています（平成31年度は市内8校が宮城教育大学から校内研修の講師を招聘。他の3校は、他の大学からの講師派遣で研修を実施しています。）また、大河原管内で指導力の優れた先生方を招き、授業づくりの研修会等を実施しています。

このように、大学等から外部の専門家を招聘し、専門的かつ先進的な指導を受けながら実践的な授業研究を行うことによって、授業改善や指導力の向上を図ります。

○角田市学力向上推進委員会を組織し、小・中連携した学力向上の方策を検討・実践します。

学校と教育委員会の担当で組織する「角田市学力向上推進委員会」で、児童・生徒の実態等についての情報交換を行い、具体的な学力向上に向けた方策を検討します。また、中学校区ごとの9年間を見通した取組について協議し、小・中の連携を図ります。

○角田市独自の学力テストを実施します。

小学1年生から中学2年生までを対象にした、標準学力調査を実施しています。結果を各学校が学年、教科ごとに分析し、成果と課題を明らかにした上で、対策（授業改善等）を講じます。また、受験した児童・生徒には個票が配付されるので、自身の学習状況を把握することができます。

○問題データベースや、ICT機の導入・整備など、教育環境の充実に努めます。

平成29年度から、国語と算数・数学の学習プリント「東書問題データベース」を各学校がインターネットを通じて活用できるようになりました。授業だけでなく、家庭学習や、単元テスト等に活用することができます。今後、計画的に校務支援システムやタブレット端末等の機器を導入し、教育環境の整備に努めます。

○図書支援員、特別支援教育支援員を配置し、学校をサポートします。

図書館支援員の配置（平成31年度は2名）により、学校図書館利用の促進や学校図書館の整備に努め、読書に親しむ環境を整えます。また、児童・生徒一人ひとりのニーズに合った教育活動の支援のために、各学校に特別支援教育支援員を配置（平成31年度は25名）し、個に応じた指導の充実に努めます。

○積極的に情報を公表し、学校・家庭・地域の連携を図ります。

生活習慣や学習習慣等の課題について、学校・家庭・地域が情報を共有し、連携しながら改善に向かうことができるように、積極的に必要な情報を公表します。

○適応指導教室を設置し、様々な「学び」の形を支援します。

平成30年6月より、適応指導教室（名称：Cocoはうすかくだ）を開設し、子どものニーズに合ったサポートを行い、児童・生徒の学びを支援しています。